

2025 年 12 月 28 日午前 10 時 30 分  
降誕節第 1 主日 主日礼拝  
司会 服部直子  
奏楽 川上ゆり子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、  
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあいさつ)  
前 奏  
招きのことば 第 1 コリント 3:6-7  
讃美歌 259 「いそぎ来たれ、主にある民」 一 同  
交読詩編 72:1-7(P.83/79)

祈 り 司会者  
《関東教区お祈りカレンダー》  
白岡伝道所 七里教会 川越教会  
(主の祈り)

讃美歌 268 「朝日はのぼりて」 一 同

聖 書 旧約 イザヤ 49:11-13(P.1143)  
新約 マタイ 2:1-12 (P.2)

メッセージ『過ちを改めるころ』  
祈 り 川上 盾 牧師

讃美歌 258(2-5)「神の子主イエスは」 一 同

献 金 一 同  
(献金感謝の祈り)

信仰告白(家族礼拝のための信仰告白) 一 同

頌 栄 27  
祝 祷 川上 盾 牧師  
後 奏  
報告・紹介

<招きのことば> イザヤ書 60:1-3  
起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り、  
主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかし、  
あなたの上には主が輝き出で、主の栄光が  
あなたの上に現れる。国々はあなたを照らす  
光に向かい、王たちは射出でその輝きに向かつて歩む。

《12 月礼拝当番》 畠中祥世 伊藤普史  
五十嵐敏子 手塚福治  
木暮富美子 岩渕デボラ

<今週の集会・行事>  
◎ 本日礼拝後 教会報委員会(臨時)  
◎ 2026 年 1 月 1 日(木)  
明けましておめでとうございます！  
明けて 2026 年は 140 周年イヤーです。

<次週の主日>  
◎主日礼拝 10:30  
メッセージ『視点の転換』  
聖書:旧約:ゼカリヤ 8:1-8(P.101/97)  
新約:ルカ 2:41-52 (P.104)  
讃美歌 208, 366(1,4,5,6), 196, 366(7)  
交読詩編 89:1-5(P.101/97)  
司会:楠元 桃 奏楽:徳江由利  
◎ 1 月定例役員会

<予 告>  
◎ 聖研祈禱会 1/7(水)10:30 & 19:30  
◎ 婦人会例会 1/15(木)10:30  
◎ 群馬地区教会協議会 1/18(日)15:30  
内容：兼牧について学び語り合う／高崎教会

<報 告>  
◎クリスマス、おつかれさまでした  
先週主日はクリスマス礼拝、お二人の受洗と  
ひとりの幼な子の幼児祝福が行われました。礼  
拝後は祝会、たくさんの人たちとイエス・キリスト  
のお誕生を祝い、新たな仲間の歓迎の時を持ち  
ました。24 日はキャンドルサービスが行われ、  
聖書朗読とキャロルの賛美、聖歌隊の歌声と共に  
クリスマスの夜を過ごしました。そうして本日は  
2025 年最後の礼拝となります。新たな年、  
2026 年は教会創立 140 周年を迎える年となり  
ます。これから様々な準備と共に、皆さんにご  
協力いただくことが出てくるかと思えます。心を  
合わせて記念の年を迎えましょう。  
◎ 群馬地区教会協議会 (2026.1.18.)  
新潟地区より、実際に兼牧での教会活動をし  
ておられる三条教会から牧師・信徒を招き、兼  
牧の実際について聞き、語り合います。教会の  
財政逼迫と教団の牧師不足により、群馬地区  
でもいずれは兼牧の教会が出てくることが予想  
されます。兼牧を受けるだけでなく、送り出す側  
にも理解と共働の志が必要となります。共にこ  
の課題を担う群馬地区を目指して開催されま  
す。役員でなくても誰でも参加できます。午後 3  
時半より高崎教会で開催。

<消 息>  
◎ 寺尾百合子さん…転院されリハビリに励んで  
おられます。教会の皆さんへのお手紙をいただき  
ました。掲示板をご覧ください。礼拝への復帰まで  
しばらく時間がかりそうです。回復を祈ります。  
◎ 堺 頼子さん…先々週、有志で訪問の機会を  
持ちました。ゆっくり平安にお過ごしです。

<先週の集会>  

|           | 礼拝堂 | オンライン | 献 金    |
|-----------|-----|-------|--------|
| 主 日 礼 拝   | 92  | 10    | 47,115 |
| クリスマス愛餐会  | 72  |       |        |
| キャンドルサービス | 71  | 23    |        |

《メッセージ》「神の選び、その理由(ゆかり)」  
ルカ 1:46-56(12 月 21 日クリスマス礼拝)  
▼今日、クリスマス礼拝で二人の仲間の受洗式が行わ  
れた。先日の信仰告白会では、それぞれの信仰の思い  
が語られた。二人には「自分の決意で信仰を選んだ」と  
いう思いがあるだろう。けれども、そこで考えて欲しい。  
「自分か神さま(イエス・キリスト)を選んだのではなく、神  
(キリスト)が自分を選んで下さった」..そう受けとめるの  
が信仰の営みであるということ。▼恋人たちの愛の告白  
になぞらえるなら、「あなたが告白したから神さまが振り  
向いてくれた」のではなく、「神さまから『あなたを愛してい  
るよ』と言われている、そのことに気付いたから『はい』と  
返事をした」..それが洗礼の決意なのだ。「神さまは全  
宇宙の中で、他でもないこのわたしを選んで下さった」そ  
う信じる時、そこに確かな信仰の歩みが与えられるだろう。  
▼では、神さまが私たちを選ばれた、その「選びの理由」  
とは何なのだろうか？現世での祝福を与えるため？天  
国への招待券を手渡すため？クリスマスのマリアの物語  
がそのことを教えてくれる。▼マリアはまさに「選ばれた  
人」。突然現れた天使が「おめでとう、恵まれた方。主が  
あなたと共におられます」と語りかける。しかし続く言葉は  
決して「めでたい」ものではなかった。結婚前の彼女に示  
された幼な子の懐妊。それは様々な非難やバッシング  
の標的にされかねない事柄であった。▼神の選びよう  
らしいこととは限りない、むしろ苦勞を背負うこともあるか  
も知れない...そんな運命を、それでもマリアは「言葉  
通りこの身に孕みますように」と引き受けてゆく。自分に益  
があるから、楽しくワクワクすることだから...ではない。し  
んどい、重荷に感じることだけれど、それが世界の救い  
につながるから引き受けるのである。▼親類エリサ  
ベトの訪問を受けた時に、マリアが返したのが「マグニフ  
ィカート(マリアの賛歌)」である。この賛歌の中に神の選  
び・その理由が示される。「力ある方が、身分の低いわたし  
のために目をとめてくださった」。マリアは高貴で優れた女  
性だから選ばれたのではない。いと小さき者だからこそ  
選ばれたのだ。▼さらにマリアは神の驚くべきみ業を語  
る。「思い上がる者を打ち散らし、権力ある者を引き降ろ  
し、身分の低い者を高く上げ、飢えた人を満ちし、富め  
る者を空腹のまま追い返される」。私たちが「当たり前」と  
思っている秩序がひっくり返される、そんな革命的な出  
来事を語るのである。▼神の救いはそのような形で世に  
届けられる。そして、そのためにイエスは世に來られた...  
そのことを示すのが御言葉おけの中に生まれた幼な子  
の姿である。そんな神の救いの働きの一翼を担うために  
マリアは選ばれたのである。▼神が私たちを選ばれるの  
も同じ理由からである。私たちが快樂に満ちた人生を歩  
んだり、他人を蹴落とし勝利者にびよるためではない。いと  
小さき者を大切に、そこから少しでも世界の救いにつ  
ながる者となる...そのために選ばれたのである。